



ふたば

No.9

令和7年1月8日
清新ふたば小学校
学校長 三柴 祐子

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。保護者や地域の皆様におかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのことと思います。

3学期の始業式では、「今年一年が素敵な一年でありますように」との思いと願いを込めて、子どもたちと教職員とで「おはようございます」の挨拶をしました。子どもたちや教職員の挨拶が、あたたかで、笑顔で、そして凜とした響きであることを感じ、とても嬉しくなりました。

今年巳年です。諸説ありますが「巳」の漢字は胎児の形から派生しており、「新しく生まれてくる」「将来・未来がある」などの意味があります。そして、「巳=へび」は、脱皮をして成長していく生き物であることから、「再生する力」「無限の可能性」という意味もあります。このことから巳年は、「新しい自分に生まれかわる」「変化のチャンス」「幸せな未来をつかむ」という意味や願いが込められているようです。転じて、目標を決めたら努力を惜しまず、時には右往左往しながらも最後までやり抜いて目標を達成することができるという意味や願いも込められているようです。

無限の可能性をつかんだり、新しい一歩を踏み出したりするためには、まず、自分を知ることが大切です。「何かに挑戦してみたい」「何か新しいことを始めたい」「今年こそこんなことを頑張りたい」「今年こそ苦手なことが少しでもできるように努力したい」…色々あると思いますが、その思いをぜひ大切に、目標をもって学習や生活をしてほしいと願っています。しかし、自分を知り、目標を見つけようと思ったとき、ただ考えるだけでは思いつかないこともありますし、実現可能な計画が立てられない場合もあります。そのようなときにはぜひ、2学期の終わりにお渡しした「あゆみ」などを活用して、自分の課題や良さを振り返ってみると、苦手を克服したり得意を伸ばしたりするきっかけになると思います。特に、苦手があるということは、成長の伸びしろがあるということです。失敗を恐れず、失敗を糧とできるように、様々なことにチャレンジしてほしいと願っています。

子どもたち一人一人が目標をもち、頑張ろうとしている意欲が継続し、さらに高まるよう励まし、見守り、育てていけるよう、今年も保護者や地域の皆様と連携を深め、協力して子どもたちを支え育てていきたいと思っています。学校でも、子どもたちが生き生きと活動し、心豊かに健やかに成長することを心より願って、教職員一同、精一杯努めてまいります。

最後に、あと3か月で1つ上の学年へ進級します。3学期は、しっかりとまとめと締めくくりができるよう、教職員が一丸となって子どもたちの指導をして成長を支えていきたいと考えています。昨年同様、本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。